

コロナ第9波の予想とワクチン7回目

令和5年春のコロナワクチン接種は高齢者と基礎疾患を持つ方を対象に5月から全国で行われていますが、6月初旬までの接種率は御殿場市だけをみても50%以下に低迷しています。この原因として、現在のコロナ感染症の危険性が低下し、ワクチン接種に対する切迫感が薄れたことと、実際に感染した高齢者も相当数いることなどがあげられます。いずれにしても6月中旬において、新型コロナ患者の発生は静岡県東部で多いといつても1週間で150人以下にとどまり、増加傾向にはあるものの、爆発的増加とまではいかないのではないかと予想されています。一方、先日国は令和5年秋、冬のコロナワクチン接種の計画を発表しました。高齢者にとっては7回目のワクチン接種ということになりますが、今度のワクチンはコロナの新しい変異株オミクロンXBB 対応株になる予定です。しかしながらいくら最新のワクチンが作られたからといって、国民のワクチンに対する期待度がどの程度になるかは、これからのコロナの感染状況によって変化するものと思われます。

